

令和4年度「第1回といかん本音トーク」報告書まとめ

実施日時	令和4年8月3日(水)	①13:30~15:30 ②18:30~20:30
実施場所	問寒別生涯学習センター	

【住民アンケート分析結果】

- ・今必要とされるのは、モノや場所(ガソリンスタンド、金融機関、店、公共機関、シェアハウス、無人駅、医療施設等)が多い
- ・将来必要とされるのは、コトや行為(家事、配食、除排雪、買物代行、草刈、家修理等)など、生活につながるものが多い
- 生活に近いサービスをサポートできる体制をいつでも提供できるように準備するべき

【意見等】

○小さな雇用

- ・常時ではなく、ちょっと困った時の助っ人のような人材がほしい(まちまかない機能)
- ・小さな小遣い稼ぎの需要を集めて地域で補完できないか

○公的サービス(交通)

- ・誰かに無償で依頼しづらい傾向があるため、サービスは有償がよいのではないか

○町内会

- ・役員の担い手不足(40~50代)
- ・町内会機能の外出し可否、スリム化、役割明確化検討
- ・町内会組織の必要性は、会員より関わる側(回覧、衛生、会費募金、防災等)が切実では…

○団体

- ・役員の担い手不足
- ・他団体との連携、多くの住民の巻き込み
- ・多世代交流ができていて魅力的

○問寒別地区の魅力

- ・人の温かさ
- ・都会とはかけ離れた面白さ
- ・若者の多様性
- ・お店あって、少し走るとコンビニもあり、稚内も近く案外便利

○問寒別地区にほしいもの

- ・キャンプ場で交流関係人口拡大、地域経済活性化
- ・地域仕事あっせん、移住者への仕事紹介
- ・交通支援拡充
- ・靴を脱がずに気軽に集まれる居場所
- ・支え手と受け手を「ごちゃまぜ」にして、地域全体で成長していく共生の仕組み

【次回に向けて】

- ・必要な取組の優先順位と地域運営

